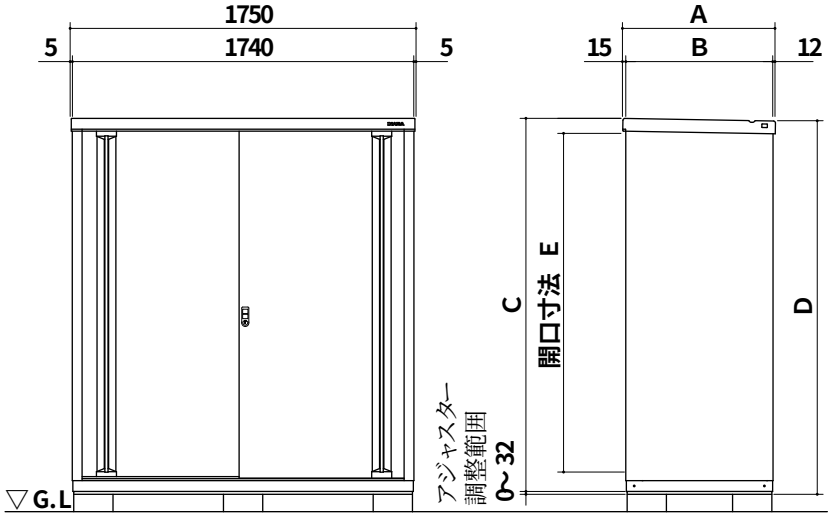
イナバ物置 シンプリー 組立説明書 J10N

MJ-176D,176DP MJ-176E,176EP MJ-177C,177CP MJ-177D,177DP MJ-177E,177EP MJ-179D,179DP MJ-179E,179EP

このたびは、イナバ物置「シンプリー」をお買い上げくださいまして誠にありがとうございました。私たちは、この製品の開発にあたって「良いものを安く」をモットーに、苦心して作り上げました。どうぞ末永くご愛用いただきますようお願い申し上げます。なお、この製品の組み立て、ご使用にあたっての注意についてご説明いたしますので、かならずお読みください。

外形図



単位 mm)

機種	屋根寸法	側板寸法	高さ寸法		開口寸法
	A	B	C	D	E
MJ-176D,DP	637	610	1603	1591	1448
MJ-176E,EP			1903	1891	1748
MJ-177C,CP	777	750	1303	1291	1148
MJ-177D,DP			1603	1591	1448
MJ-177E,EP			1903	1891	1748
MJ-179D,DP	927	900	1603	1591	1448
MJ-179E,EP			1903	1891	1748

機種別梱包一覧表

イナバ物置MJ各型の部品は、下記梱包に分けられております。梱包番号と個数をご確認ください。
※下記部品のほかに、コンクリートブロック6個（アンカープレート使用時は、セメント砂（砂利）を準備してください。

機種（梱包数）		全面棚タイプ	MJ-176D（8梱包）	MJ-176E（8梱包）	MJ-177C（8梱包）	MJ-177D（8梱包）	MJ-177E（8梱包）	MJ-179D（8梱包）	MJ-179E（8梱包）
		長もの収納タイプ	MJ-176DP（7梱包）	MJ-176EP（7梱包）	MJ-177CP（7梱包）	MJ-177DP（7梱包）	MJ-177EP（7梱包）	MJ-179DP（7梱包）	MJ-179EP（7梱包）
梱包名称・梱包番号	ベース・床		H3-1756	H3-1756	H3-1757	H3-1757	H3-1757	H3-1759	H3-1759
	屋根		H3-1726	H3-1726	H3-1727	H3-1727	H3-1727	H3-1729	H3-1729
	側板		H3-0634	H3-0635	H3-0733	H3-0734	H3-0735	H3-0934	H3-0935
	壁パネル		H3-4444	H3-4445	H3-4443	H3-4444	H3-4445	H3-4444	H3-4445
	扉	エレガントグレー	H3-1764	H3-1765	H3-1763	H3-1764	H3-1765	H3-1764	H3-1765
		フレンドリーホワイト	H3-1784	H3-1785	H3-1783	H3-1784	H3-1785	H3-1784	H3-1785
		ロイヤルグリーン	H3-1794	H3-1795	H3-1793	H3-1794	H3-1795	H3-1794	H3-1795
	棚支柱棚板	全面棚タイプ	H3-4277 H2-3272x2	H3-5277 H2-3272x2	H3-3377 H1-0172x2	H3-4377 H1-0172x2	H3-5377 H1-0172x2	H3-4377 H1-0172x2	H3-5377 H1-0172x2
		長もの収納タイプ	H3-4477 H2-2472	H3-5477 H2-2472	H3-3577 H1-0272	H3-4577 H1-0272	H3-5577 H1-0272	H3-4577 H1-0272	H3-5577 H1-0272

安全のために必ずお守りください。

ここに記載してある事柄は、人や物に対して危害・損害を未然に防止し、
製品をより安全かつ正しく組み立てて頂くためのものです。

マークの説明		
	⚠ 注意	安全のために必ずお守りください。死亡・ケガの原因になります。
	⚠ 留意	これらの点にもご留意ください。ケガ・損害の原因になります。

収納庫の設置について

⚠ 注意

1転倒防止工事を必ず行ってください。
⇒転倒防止工事がされていない場合、強風等により転倒し、傷害事故につながります。また、収納物に被害を与えます。

2崖の縁や屋上など、安全の確認できない場所への設置は避けてください。
⇒強風により転倒、落下の危険があります。

⚠ 留意

1家からの雪が直接屋根に落ちて来る場所への設置は避けてください。
⇒変形・破損により、雨もりの原因になったり収納物に被害を与えます。

2マンションのベランダに設置する場合は、避難通路を確保してください。
⇒非常時に避難通路として使えなくなります。

3家の屋根からまとまった雨水が直接屋根や壁に落ちないように配慮してください。
⇒雨もりの原因になります。

収納庫の組み立てについて

⚠ 注意

1風の強い日の組み立ては避けてください。
⇒強風のため部材が飛んでケガをしたり、部材の転倒による破損原因になります。

2ユーザーの組み立てはなるべく２人以上で行ってください。
⇒一人で無理をされると、部材の転倒・落下によるケガの原因になります。

3 30kg以上の梱包や部材の運搬は、２人以上で行ってください。
⇒ケガをしたり腰を痛める原因になります。

4組み立て時は、ヘルメット・手袋・長袖シャツなどの保護具の着用をしてください。
⇒ケガの原因になります。

5組み立て中は部材の転倒防止のために、つっかい棒やロープなどをお使いください。
⇒組み付け時の部材の落下や突風による部材の転倒により、ケガをしたり部材の破損につながります。

6組み立て途中で放置しないでください。
⇒強風などにより部材が飛散・転倒してケガをしたり、部材の破損につながります。

組立が完了したら

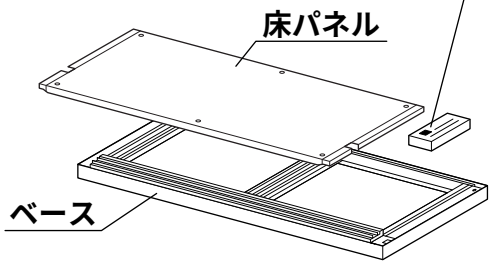
保証書・取扱説明書・組立説明書は、保管ケース(側板に貼り付けてあります。)に入れて大切に保管してください。

●梱包別部品一覧

各梱包には下記部品がはいっておりますので、内容と個数をご確認のうえ組み立ててください。

＜ベース 床＞

品番	部品名	数
1	ベース	1
6	床パネル	1
●	部品箱	1



部品箱

六角ボルト	ネジ板	パッキン付ネジ板	転倒防止金具	鎖取付金具	アンカープレート
38本	12枚	11枚	2個	2個	4セット
目隠しキャップ	ボルトキャップ	扉調整ボルト	木ネジ	S字フック	
6個	10個	2個	2本	2本	
コーナー金具		水準器	ワイヤー		ボックススパナ
右1個 左1個		1個	2本		1個

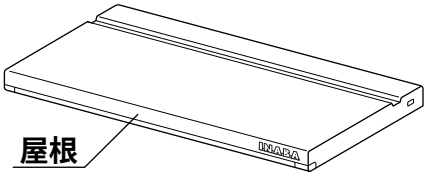
・組立説明書（本書）・取扱説明書　・保証書　・型式ネーム

※ボルト、ネジ板は、各1個（MJ-177C、CPはボルト6本、ネジ板1枚、パッキン付ネジ板6枚）予備を含んだ数量です。

※「取扱説明書」、「保証書」も、かならずお読みください。

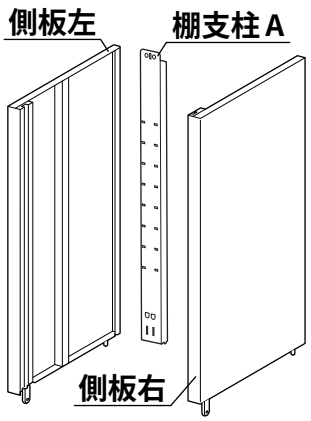
＜屋根＞

品番	部品名	数
4	屋根	1



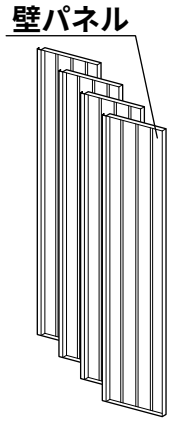
＜側板＞

品番	部品名	数
2R	側板右	1
2L	側板左	1
41	棚支柱A	1



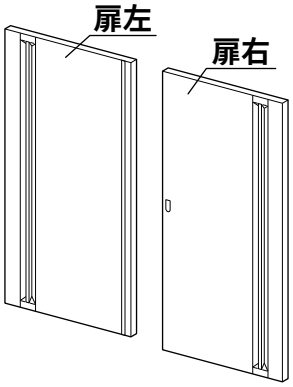
＜壁パネル＞

品番	部品名	数
31	壁パネル	4



＜扉＞

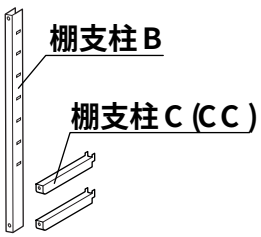
品番	部品名	数
34	扉右	1
35	扉左	1



＜棚支柱 全面棚タイプ＞

品番	部品名	数
42	棚支柱B	1
43	棚支柱C（※CC）	2
	六角ボルト	2

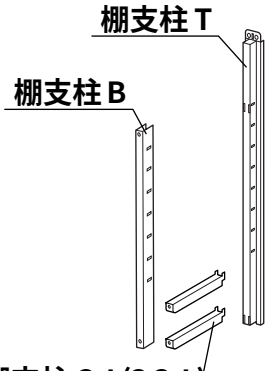
※MJ-176D、Eは棚支柱CCになります。



＜棚支柱 長もの収納タイプ＞

品番	部品名	数
50	棚支柱T	1
42	棚支柱B	1
43	棚支柱CJ（※CCJ）	2
	六角ボルト	3
	ネジ板	1

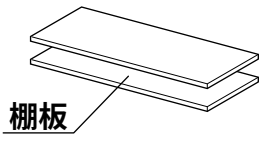
※MJ-176DP、EPは棚支柱CCJになります。

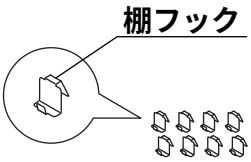


＜棚板＞

品番	部品名	数
●	棚板	2
	棚フック	8

※全面棚タイプの場合は2梱包（4枚）あります。



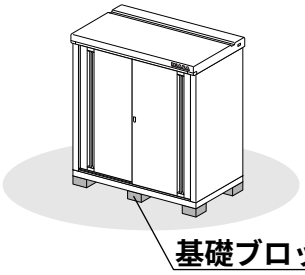


●品番が白抜番号の部品には、製造番号が打ってあります。組み立て時、不具合が起きた場合はその部品の製造番号を確認し、ご連絡ください。

組立順序のご説明

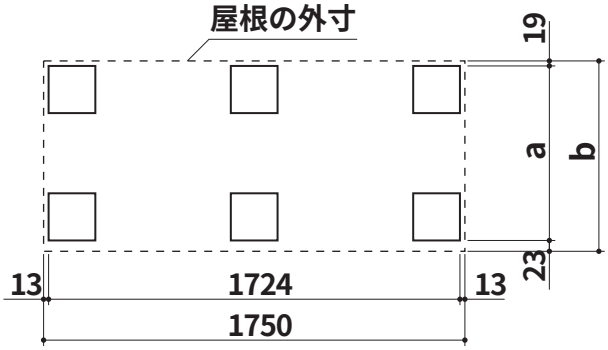
組み立てにあたって、部品の共通性・互換性を持たせるために、取り付け穴が余分にあけてあります。相手に穴のない所はボルト締めの必要はありません。各取り付け穴は、組み立てを容易にするために余裕を持たせてあります。片寄った締め方をすると、部品が入らなかったり穴が合わない場合がありますので、この場合はボルトをゆるめ調整してください。

1 .基礎



①地ならし・地固めをします。
②コンクリートブロックを水平に設置します。

⚠
地固めをしないと、内部に品物を入れた時に重みで水平がくるい、戸当たりが悪くなりますのでご注意ください。



機種ごとに寸法が違いますので、右表をよく見て施工してください。

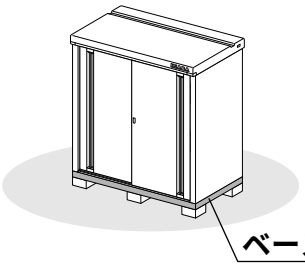
単位 mm)

機 種	a	b
MJ-176D,DP,E,EP	595	637
MJ-177C,CP,D,DP,E,EP	735	777
MJ-179D,DP,E,EP	885	927

2 .ベース設置

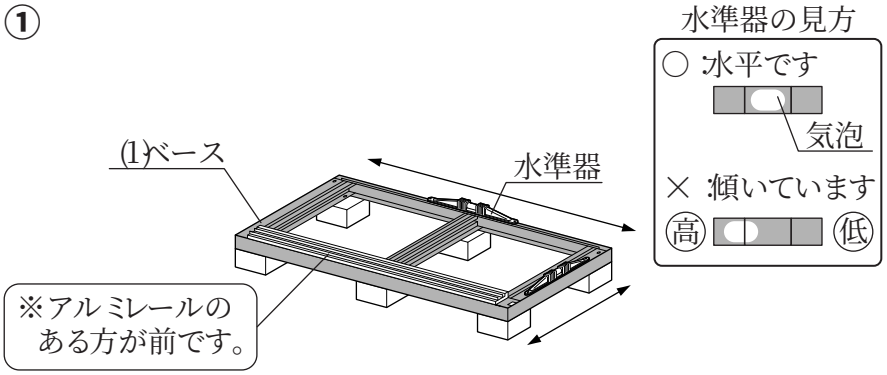
使用梱包 ベース・床

※梱包内の床パネルは「7床パネル取付」で使用します。

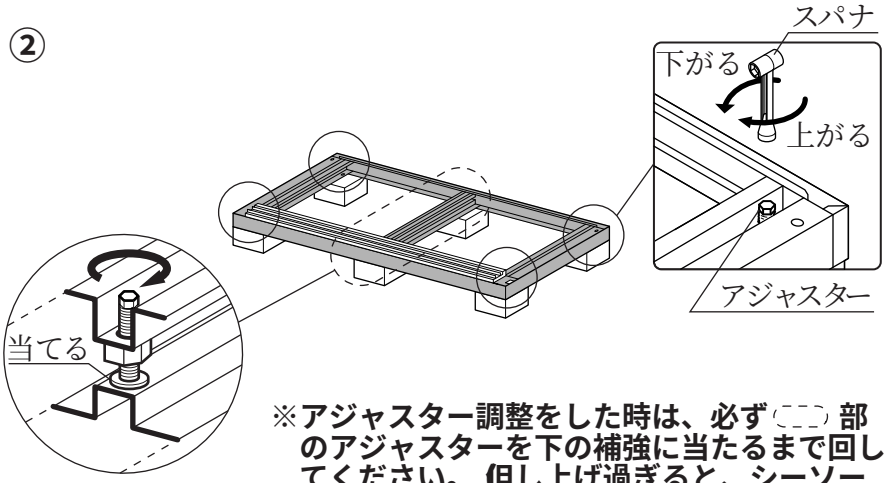


①ベースを設置し、水準器を使って四方の水平を確認します。
②水平がくるっている場合は、四隅のアジャスターをスパナで微調整（調整範囲0～32mmまで）してください。
※調整方法
四隅のうち一番高い所を見極め、そこに高さを合わせるようにして低い所のアジャスターを上げてください。

①



②

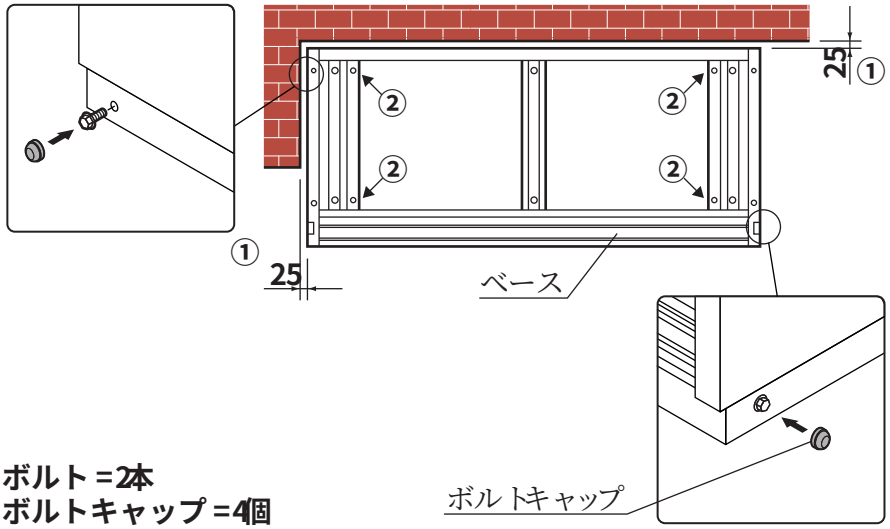


※アジャスター調整をした時は、必ず（□□）部のアジャスターを下の補強に当たるまで回してください。（但し上げ過ぎると、シーソーのようになりますので注意してください。）

※内アンカー工事をする場合

転倒防止工事のうち、内アンカー工事を行う場合は下記要領で行ってください。内アンカー工事を行わない場合は「3側板取付」へお進みください。

①ベースを建物の壁や障害物から25mm以上のスキマ（屋根の出幅分）をあけて設置します。
※左右のスキマがせまい場合は、先に「3側板取付」で側板を取り付け、ベース後部側面の穴にボルトを取り付けたあと、ボルトキャップを取り付けてください。
②四隅の穴にマークをし、M8アンカーボルト4本（市販品）で固定してください。
③「2 ベース設置」の要領で水平を調整します。

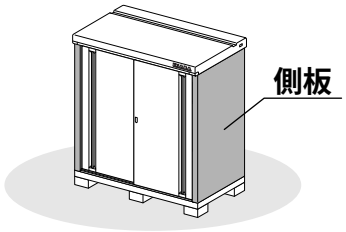


ボルト=2本
ボルトキャップ=4個

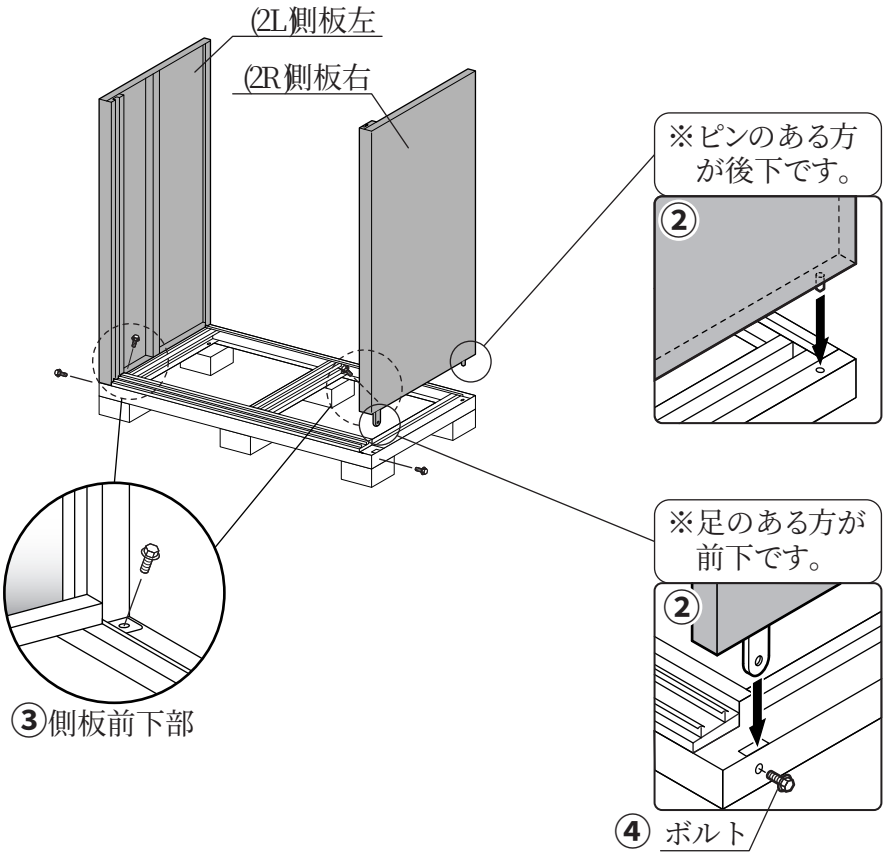
3 .側板取付

使用梱包 側板

※梱包内の棚支柱は「6棚支柱A取付」で使用します。



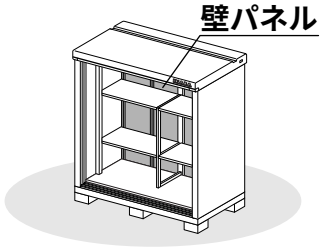
①側板に貼り付けてある棚支柱を取り外します。
②側板の前の足をベースの角穴に差し込み、後ろのピンをベースの丸穴に押し込みます。
③側板前下部を内側からボルトで固定します。
④側板の前の足を外側からボルトで固定ます。



ボルト=4本

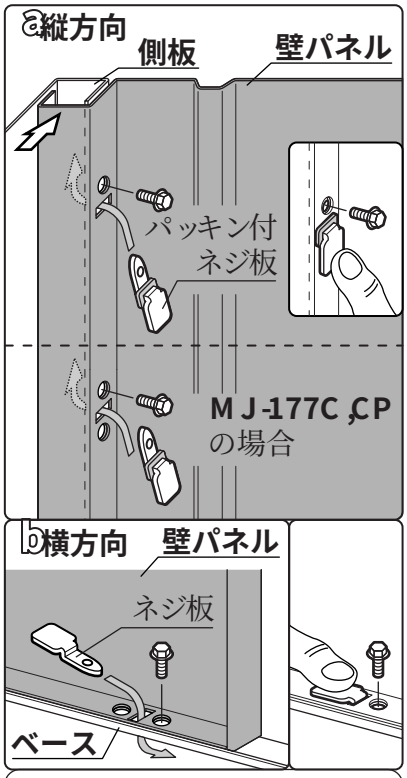
4 .壁パネル取付

使用梱包 壁パネル



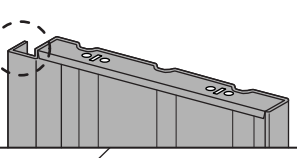
①壁パネルを側板後ろにはめ込み、縦方向 ⓐをボルトとパッキン付ネジ板で取り付け、横方向 ⓑをボルトとネジ板で取り付けます。

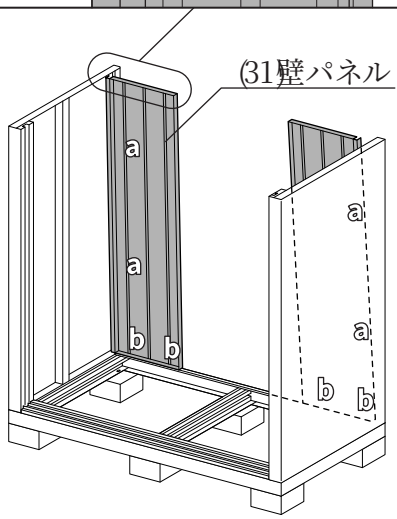
①



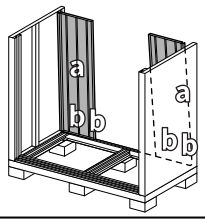
※ネジ板を指で押えながらボルトをしめます。

※壁パネルに上下はありません。
※コの字に曲がっている方が側板側です。





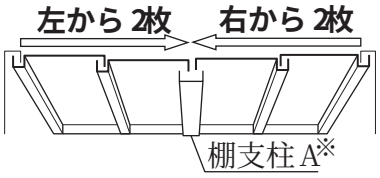
MJ-177C,CP
の場合、ⓐは右図のようになります。



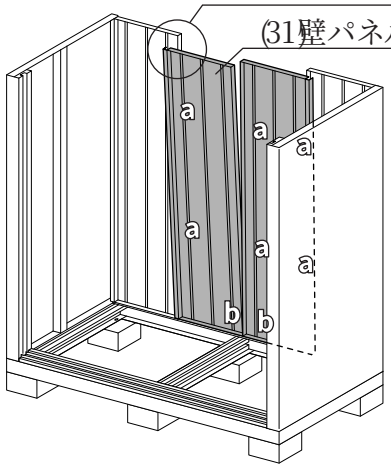
②残りの壁パネルも同様に取り付けます。
※コの字の曲げ部に注意して図を参考に取り付けてください。

②

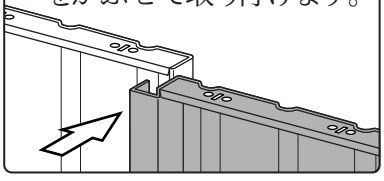
壁の取付



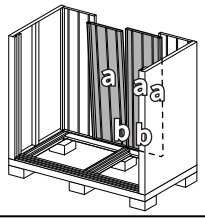
※ 棚支柱Aは**「6棚支柱A取付」**で取り付けます。



※先に取り付けてある壁パネルに、コの字の曲げ部をかぶせて取り付けます。



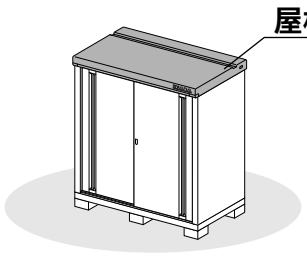
MJ-177C,CP
の場合、ⓐは右図のようになります。



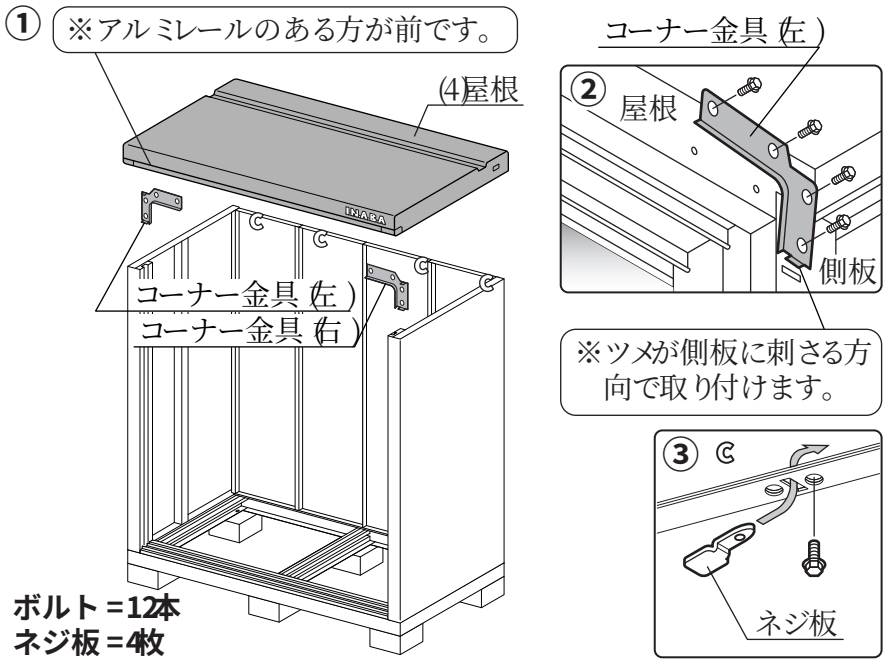
ボルト=16・1本
ネジ板=6枚
パッキン付ネジ板=10・5枚

5 .屋根取付

使用梱包 **屋根**



①屋根を乗せ、４隅が本体にかぶさっているか確認します。
※別売の雨といは、屋根を乗せる前に取り付けてください。
②コーナー金具とボルトで側板前上部に固定します。
③ボルトとネジ板で壁パネル (ⓒ) と固定します。

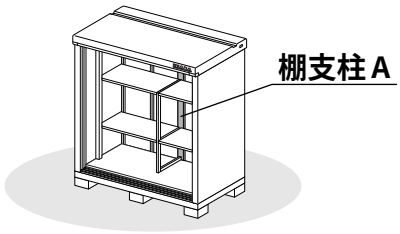


ボルト＝12本
ネジ板＝4枚

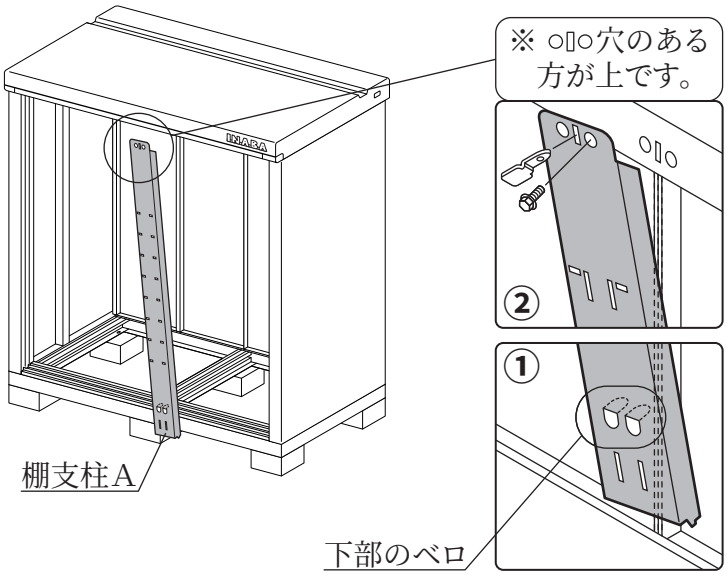
6 棚支柱A取付

使用梱包 **側板**

※梱包は「3側板取付」で開梱済です。



①下部のベロで壁パネルのつなぎ目をはさみ込みます。
※棚支柱Aの取付位置は「4壁パネル取付」の②を参考にしてください。
②ボルトとネジ板で屋根と取り付けます。

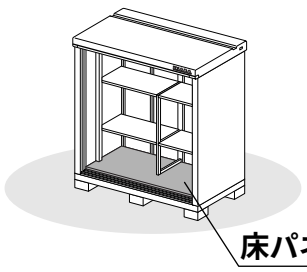


ボルト＝1本
ネジ板＝1枚

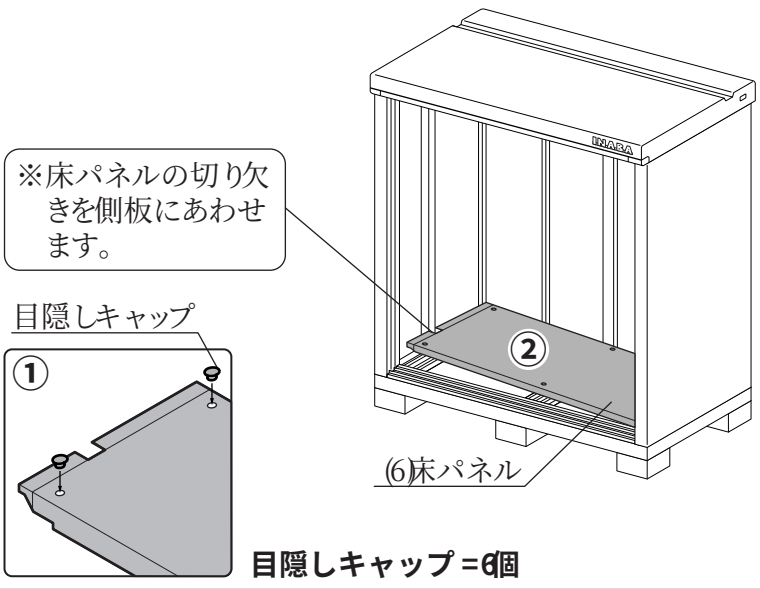
7 床パネル取付

使用梱包 **ベース・床**

※梱包は「2ベース設置」で開梱済です。



①床パネルに目隠しキャップを取り付けます。
②床パネルをベースにはめ込みます。
※別売のスライド床は、床パネルをはめ込む前に取り付けてください。

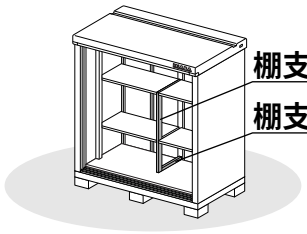


目隠しキャップ＝6個

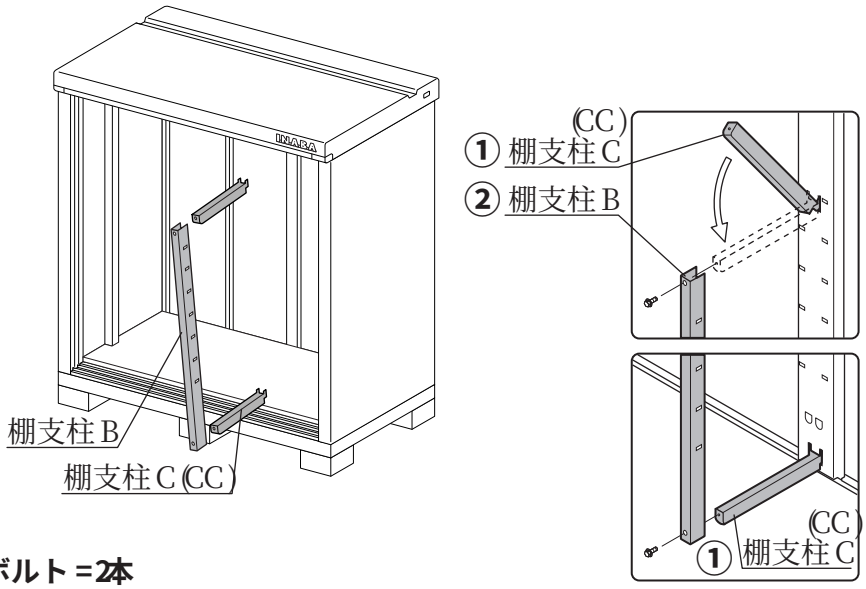
8 棚支柱B、C(CC)取付

使用梱包 棚支柱

※全面棚タイプのみ組み立てが必要です。長もの収納タイプの場合は「9.棚支柱T、CJ(CCJ)、B取付」へお進みください。



①棚支柱Aの角穴に棚支柱C(CC)を差し込みます。(2本)
②棚支柱Bを棚支柱C(CC)にボルトで取り付けます。
※別売の前棚板の支柱はここで取り付けてください。

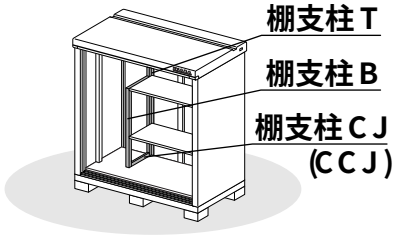


ボルト=2本

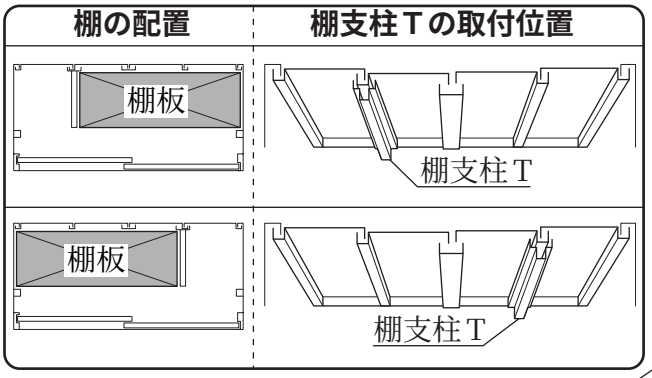
9 棚支柱T、CJ(CCJ)、B取付

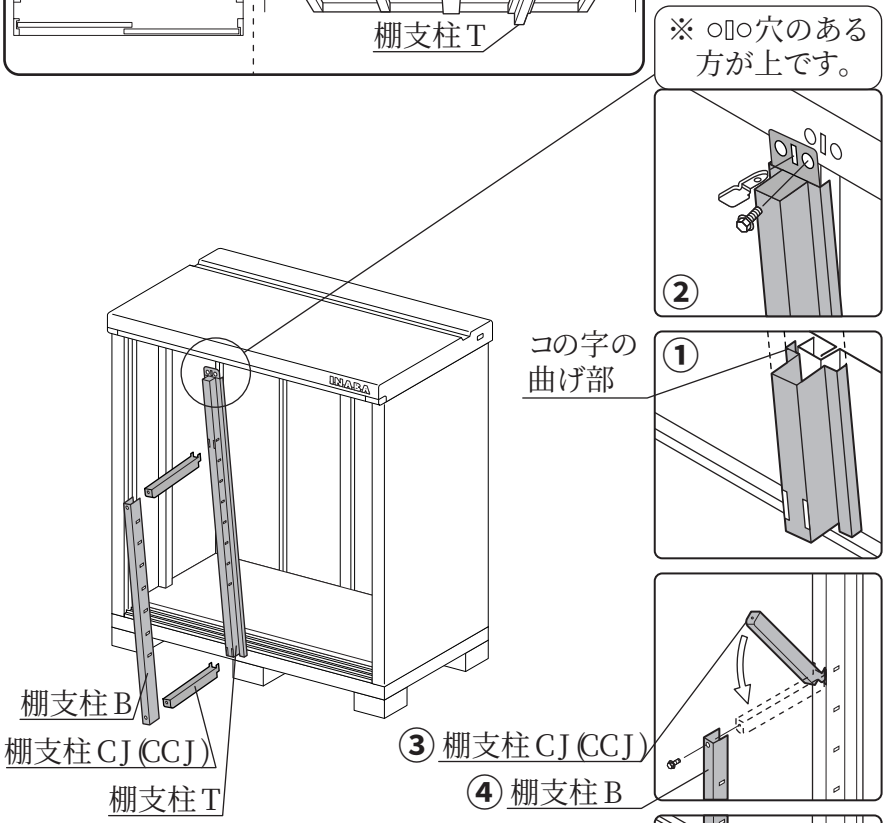
使用梱包 棚支柱

※長もの収納タイプのみ組み立てが必要です。全面棚タイプの場合は「10棚板・S字フック取付」へお進みください。



①棚支柱Tを壁パネルのコの字の曲げ部にあわせて立てます。
※棚支柱Tは棚の配置によって取付位置が変わりますので図を参考に取り付けてください。
②棚支柱Tをボルトとネジ板で屋根と取り付けます。
③棚支柱Tの角穴に棚支柱CJ(CCJ)を差し込みます。(2本)
④棚支柱Bを棚支柱CJ(CCJ)にボルトで取り付けます。
※別売の前棚板の支柱はここで取り付けてください。





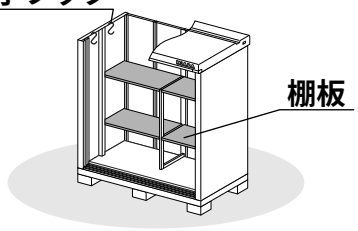
ボルト=3本
ネジ板=1枚

10棚板・S字フック取付

使用梱包 棚板

※棚フックは棚板の梱包内に入っています。部品箱には入っていません。

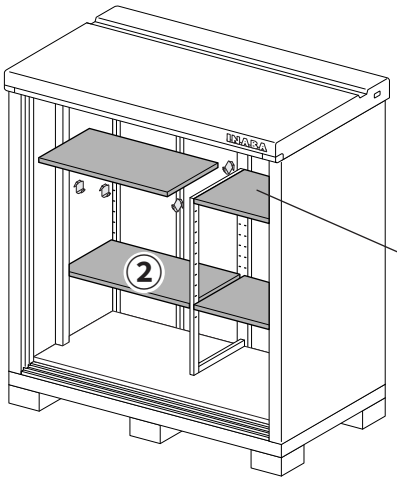
S字フック



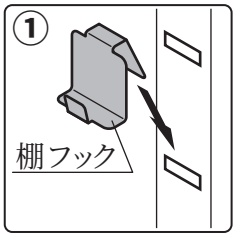
①棚フックを角穴部に引っかけます。（棚板１枚に棚フックを４個使用します。）
②棚板を乗せます。（棚板の配置によっては、図と左右が逆になります。）
※別売の引出しは棚板を乗せる前に取り付けてください。
※別売の前棚板はここで取り付けてください。

③S字フックは、側板上部の穴に引っかけてお使いください。

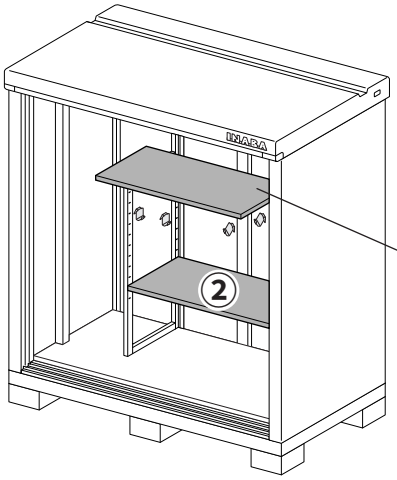
●全面棚タイプの場合



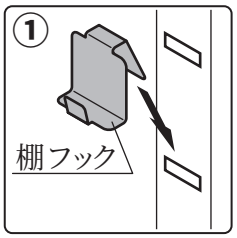
棚板 01
（MJ-176D□Eは棚板 232）

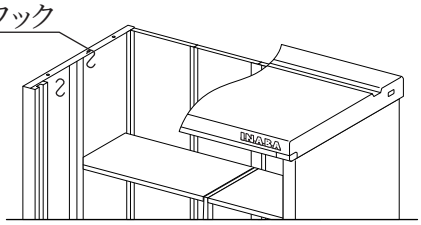


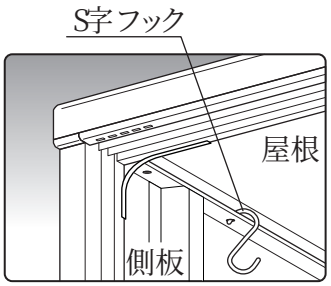
●長もの収納タイプの場合



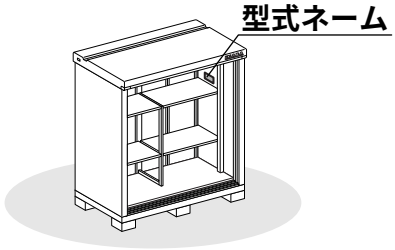
棚板 02
（MJ-176DP□Eは棚板 224）



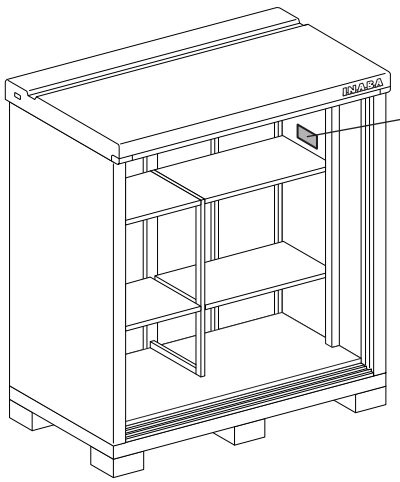




11型式ネーム貼付



部品箱内の「型式ネーム」シールを側板右上部内側に貼り付けます。

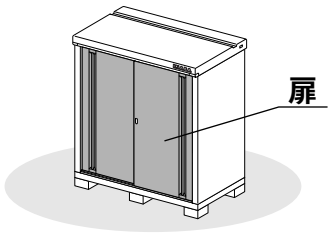


型式ネーム

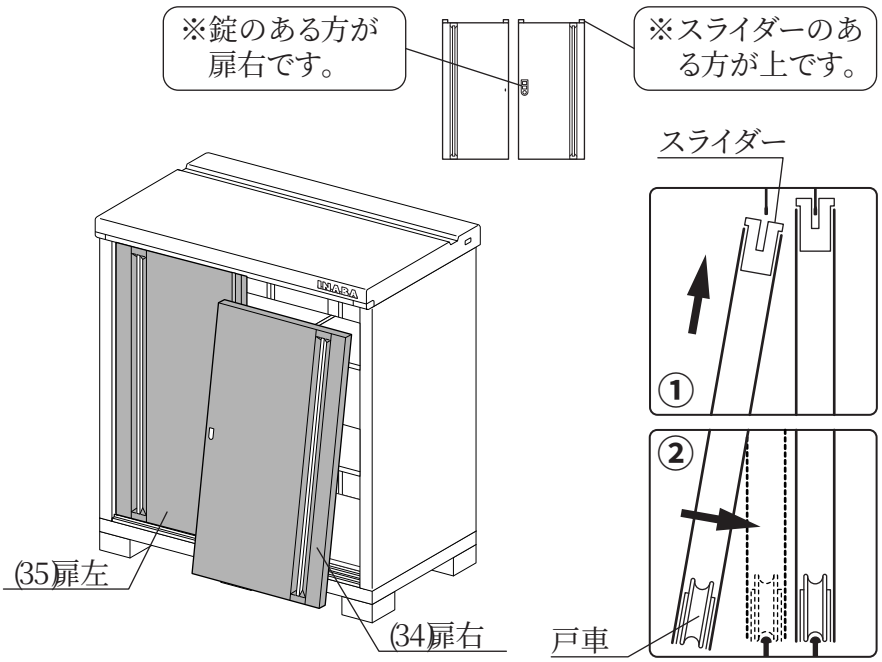
12扉取付

使用梱包 **扉**

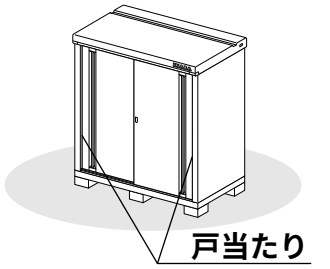
※鍵は扉の裏側に貼ってあります。



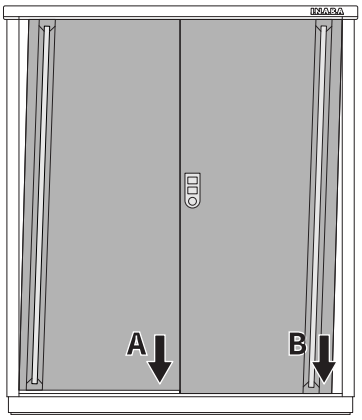
①扉左のスライダーを屋根のレール（奥側）にはめ込みます。
②戸車をベースのレール（奥側）に乗せます。
③同様に扉右を手前側のレールに取り付けます。



13戸当たり調整

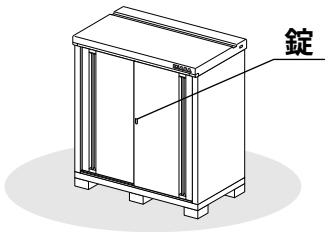


扉を閉めて右図のようにスキマ（3mm程度）ができた場合は、A、B部の戸車を下記の要領で調整してください。
①戸車を固定しているボルトを4、5回転ゆるめます。
②部品箱内の扉調整用のボルトで戸当たりを調整します。
③最初にゆるめたボルトを締め付けます。



※3mm以上のスキマや上記の要領で調整できない時は、目隠しキャップをはずしベースの水平を出し直してください。（「2 ベース設置」を参照）

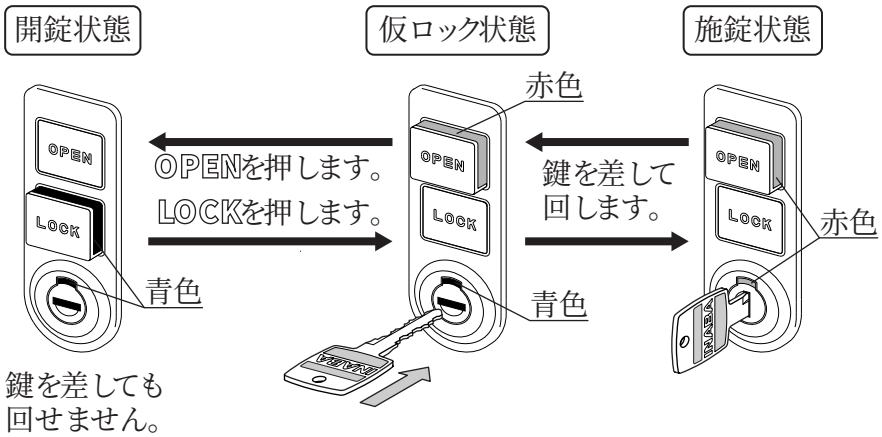
14施錠方法について



錠は仮ロック付です。鍵を使わずに仮にロックできる機構が付いています。右記方法に従って施錠してください。

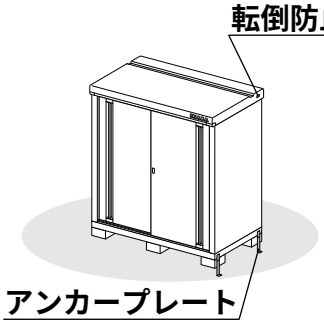
⚠

LOCKボタンを押しただけでは鍵はかかりません。（仮ロック状態）施錠の際は必ず鍵を使ってください。



15 転倒防止工事

※「2ベース設置」で内アンカー工事を行っている場合には不要です。

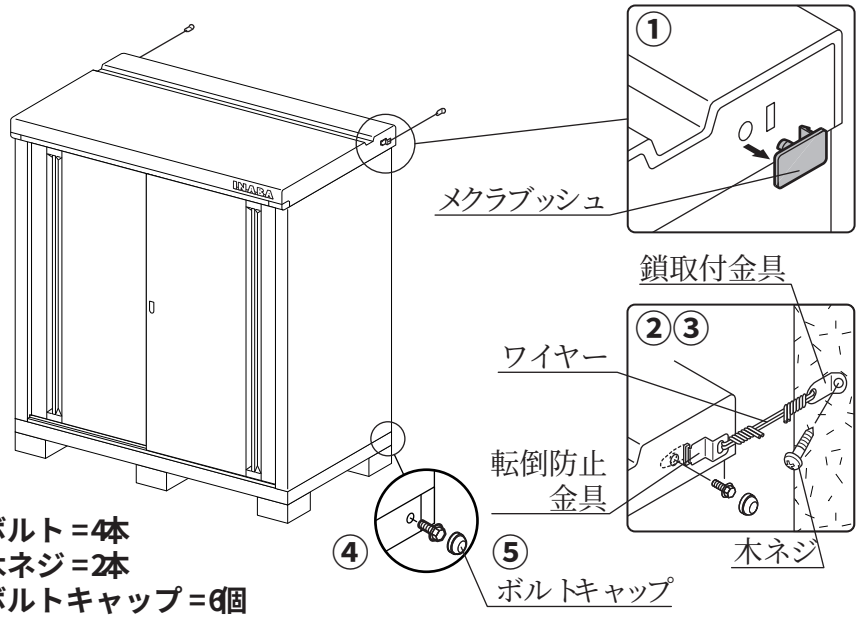


下記方法から選んでください。
A .ワイヤー工事
B .アンカー工事

⚠
転倒防止工事は必ず行ってください。転倒防止工事がされていない場合、強風等により転倒し、傷害事故につながります。また、収納物に被害を与えます。

A ワイヤー工事

①屋根側面後部のメクラブッシュをはずします。
②転倒防止金具を屋根にボルトで取り付けます。
③ワイヤー、鎖取付金具を使い、建物の壁や柱等に固定してください。
④ベース後部側面の穴にボルトを取り付けます。
⑤外に出ているボルトにボルトキャップを取り付けます。

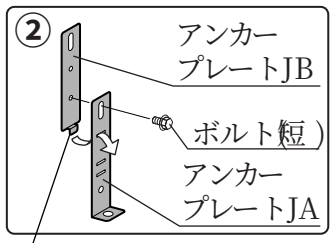


ボルト =4本
木ネジ =2本
ボルトキャップ =6個

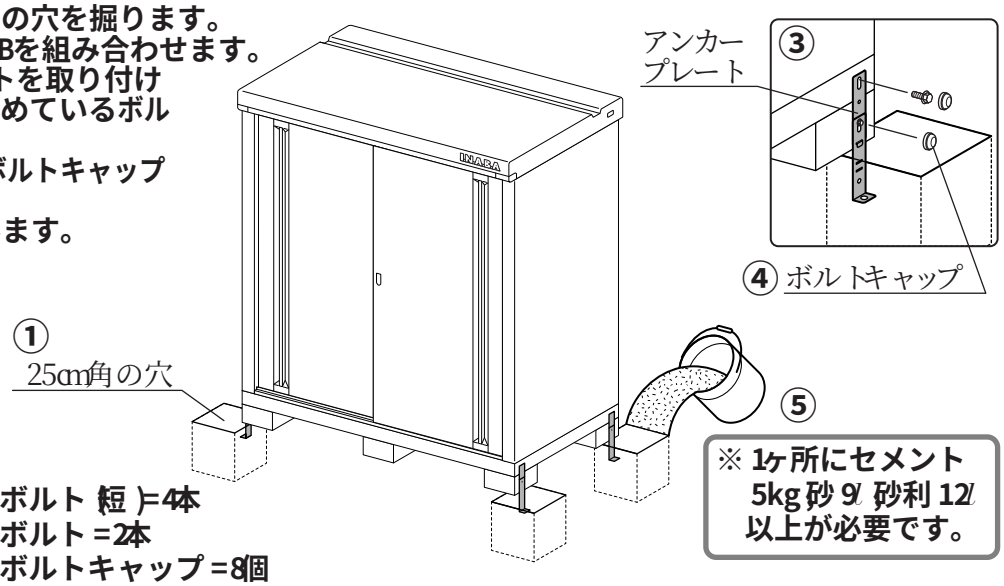
B アンカー工事

イ）地盤が土の場合

①ベースの四隅に25cm角の穴を掘ります。
②アンカープレートJAとJBを組み合わせます。
③ベースにアンカープレートを取り付けます。(前側は、側板を止めているボルトを使います。)
④外に出ているボルトにボルトキャップを取り付けます。
⑤コンクリートを流し込みます。



※ツメを差し込んでからボルトを締めます。

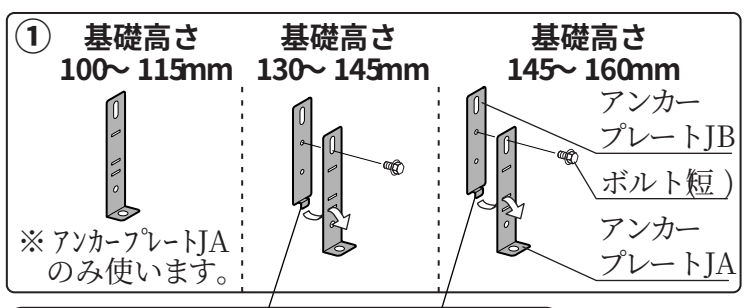


※1ヶ所にセメント5kg(砂9ℓ、砂利12ℓ)以上が必要です。

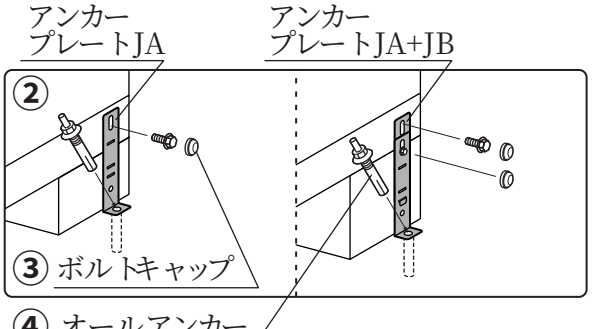
ボルト(短)=4本
ボルト =2本
ボルトキャップ =8個

ロ）地盤がコンクリートの場合

①基礎高さに合わせて、アンカープレートJAとJBを組み合わせます。
②ベースにアンカープレートを取り付けます。(前側は、側板を止めているボルトを使います。)
③外に出ているボルトにボルトキャップを取り付けます。
④M8オールアンカー(市販品)で固定します。



※ツメを差し込んでからボルトを締めます。



ボルト(短)=0・4本
ボルト =2本
ボルトキャップ =4・8個

株式会社 稲葉製作所
本社　〒146-8543 東京都大田区矢口2-5-25

[製品のお問い合わせは各営業所で承ります。]
●仙台営業所　☎(022)287-1000
〒984-0002宮城県仙台市若林区卸町東3-4-15
●東京営業所　☎(03)3759-5111
〒146-8543東京都大田区矢口2-5-25
●千葉営業所　☎(04)7192-0625
〒270-1455千葉県柏市金山1000
●神奈川営業所　☎(046)264-2656
〒242-0018神奈川県大和市深見西2-5-33
●静岡営業所　☎(054)667-6711
〒421-1131静岡県志太郡岡部町内谷1218-1
●名古屋営業所　☎(0568)67-3771
〒484-0888愛知県犬山市羽黒新田字笹野1
●大阪営業所　☎(0798)43-1311
〒663-8142兵庫県西宮市鳴尾浜1-6-17
●広島営業所　☎(082)849-6688
〒731-3161広島県広島市安佐南区大塚西5-3-23
●福岡営業所　☎(092)663-2270
〒813-0023福岡県福岡市東区蒲田3-18-35

07.08(E)